

Hop Step Jump

1

初任者研修第 2 回授業づくり① アンケートの感想から

子どもの主体的な「学びたい」「より良くなりたい」の想いをしっかりキャッチし、そしてそれをもとに「もっと学びたい」にできるかどうか。私自身の力量次第でそれは何倍にもなるし、逆に何分の一にもなるなと感じた。今日頂いたエッセンスをはじめ、たくさん学び、吸収し、変化し続けることが大切だと学んだ。ありがとうございました。

「子どもを大切にする」「子どもの力を信じる」「子どもの力を引き出す」という 3 つのテーマを忘れずにしていきたいと感じた。課題との出あい方や、解決の見通し、考える工夫や学びを振り返る工夫を自分自身の授業展開に積極的に取り入れる方法を考えていきたい。

指導案を振り返りながら、授業の中で使えることがたくさんありました。板書をきちんと考えると、次の授業に挑むのが楽しみになります。

「教材との出会い」が自分は単に教科書を開いているだけでしたが、工夫が必要だということが分かりました。

「先生の声かけ次第」という言葉にははっとさせられました。自分の言動の一つひとつを大切に、生徒のことを考えていきたいと思いました。
班別協議は情報の交換になって良かったです。

今日は授業がうまくいかず、声をからせてしまい、多くの課題にぶつかり悩んでいました。講義で具体的なお話やネタが聞けて先が見えた気がしました。

しっかりと子どもの笑顔があふれる授業を目指したいと思います。

教師の普段からの声かけ、そして授業中の声かけがクラスづくりにつながっていると思うと、一つひとつを丁寧にしていかなければいけないと思いました。

気 が付けばゴールデンウィークも過ぎました。あっという間の 1 ヶ月。

そろそろみなさんも学校での生活のペースはつかめてきたでしょうか。

去る 4 月 17 日と 22 日に豊能町教育委員会教育支援課、板倉 忠課長を講師としてお迎えし、初任者研修 第 2 回授業づくり①が行われました。

その研修のアンケートから、感想をピックアップしました。一緒に受講していた仲間たちが、どんなふうに感じ、何を考えたか。少しですが紹介します。

授業づくりの基本的な考え方を今回の研修ではお伝えしました。

授業を構造化して考えることで、案を考えやすくなるでしょうし、目標から逆算して考えることで計画が立てやすくなります。

また、板書計画を考えることが授業の流れに即つながります。

その中で、明日は何で子どもたちを驚かしてやろう…なんて考えられるようになればしめたものです。

授業づくりはとても奥が深いものです。先輩に学び、子ども達に学びながら、子どもたちが生き生きと学ぶ姿を想像しながら、今回の研修をヒントに、授業を創ってください。

